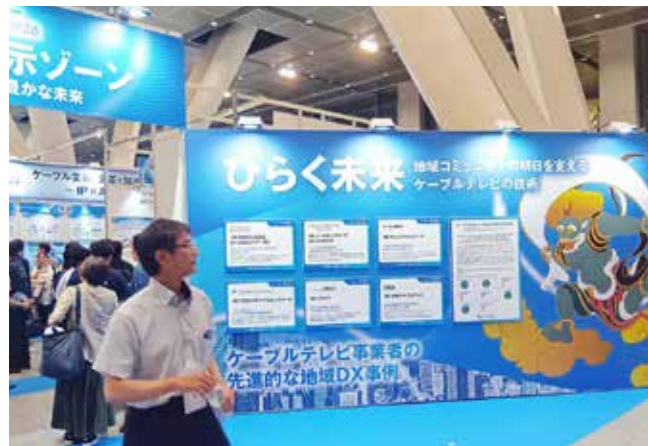




ケーブル技術ショー 2026 は、未来を切り拓く「技術と人の出会いの場」を提供し、ケーブルテレビ業界の総合イベントとして同時開催の「ケーブルコンベンション」と連携し、リアルとオンラインの両面で情報発信と交流を最大化。地域の未来を支える技術と出会う絶好の機会として開催された。

ケーブル技術ショー 2026 のコンセプト

ケーブルテレビは、放送を超え、地域社会の情報インフラとして進化しています。高速通信、IP 配信、ローカル 5G、IoT、防災情報の高度化など、技術革新は地域の安全・安心を守り、暮らしを豊かにするために不可欠である。

人口減少や高齢化、災害リスク、デジタル格差など、地域課題は複雑化しています。こうした課題に応えるため、ケーブルテレビは放送と通信の融合を進め、地域 DX やスマートシティ、防災・教育・医療・福祉など幅広い分野で新しい価値を提供します。

ケーブル技術ショー 2026 は、未来を切り拓く「技術と人の出会いの場」を提供し、ケーブルテレビ業界の総合イベントとして同時開催の「ケーブルコンベンション」と連携し、リアルとオンラインの両面で情報発信と交流を最大化。地域の未来を支える技術と出会う絶好の機会となった。

名称: ケーブル技術ショー 2026 (Cable Tech Show 2026)

テーマ: ひらく未来～地域コミュニティの明日を支えるケーブルテレビの技術～

会 期: 【技術展示会】2026年7月23日(木)9:30～18:00
2026年7月24日(金)9:30～17:00

【オンライン展示会】2026年6月23日(火)～9月9日(水)

会 場: 【技術展示会】東京国際フォーラム

【オンライン展示会】ケーブル技術ショー公式ウェブサイト
www.catv-f.com

主 催: (一社) 日本 CATV 技術協会 / (一社) 日本ケーブルテレビ連盟 / (一社) 衛星放送協会

後 援: 総務省

特別協賛: (一社) 日本ケーブルラボ / ケーブルテレビ無線利活用促進協議会 / (一社) 日本コミュニティ放送協会 (順不同)

協 賛: 情報通信月間推進協議会

特別協力: NHK / (一社) 日本民間放送連盟 / (一社) 放送サービス高度化推進協会 (以上予定・順不同)

協 力: 日本テレビ放送網(株) / (株) TBSテレビ / (株) フジテレビジョン / (株) テレビ朝日 / (株) 日本経済新聞社 / (株) 産業経済新聞社 / 東京新聞 / (一社) 共同通信社 / (株) 時事通信社 / (一社) 日本経済団体連合会 / (一社) 電子情報技術産業協会 / (一社) 電波産業会 / (一社) 電気通信事業者協会 / (一社) テレコムサービス協会 / (一社) 日本インターネットプロバイダー協会 / (一社) コンピュータエンターテインメント協会 / (一財) 全国地域情報化推進協会 / (一財) 電波技術協会

自治体地域 DX 技術オンライン

ケーブル技術ショーのオンライン展示会内に、地方自治体関係者を対象とした特別コンテンツ「自治体地域 DX 技術オンライン」を設置いたします。地域 DX の先進事例や共創の取り組みを紹介することで、地理的・業務的・時間的な制約や意識面での障壁を解消し、ケーブル技術を自治体の皆様にとって“自分ごと”として捉えていただけるような構成です。

① 先進事例記事の掲載

地域 DX や地域共創に関する最新の先進事例を、読みやすい記事形式で発信。

② 自治体向けセミナーの開催

地域課題の解決につながる DX 事例をテーマとした、自治体関係者向けオンラインセミナーを実施。

③ 過去の主催者企画コンテンツのアーカイブとして展開。

これまでのテーマ展示や特別企画の内容を再編集し、展開。

④ 過去セミナーのアーカイブ映像の掲載

自治体の参考となる過去のセミナー映像をオンデマンドで視聴可能。

プレミアムセミナー

おける AI 活用とリスクマネジメント

NHK 放送文化研究所 メディア研究部 斉藤 孝信氏

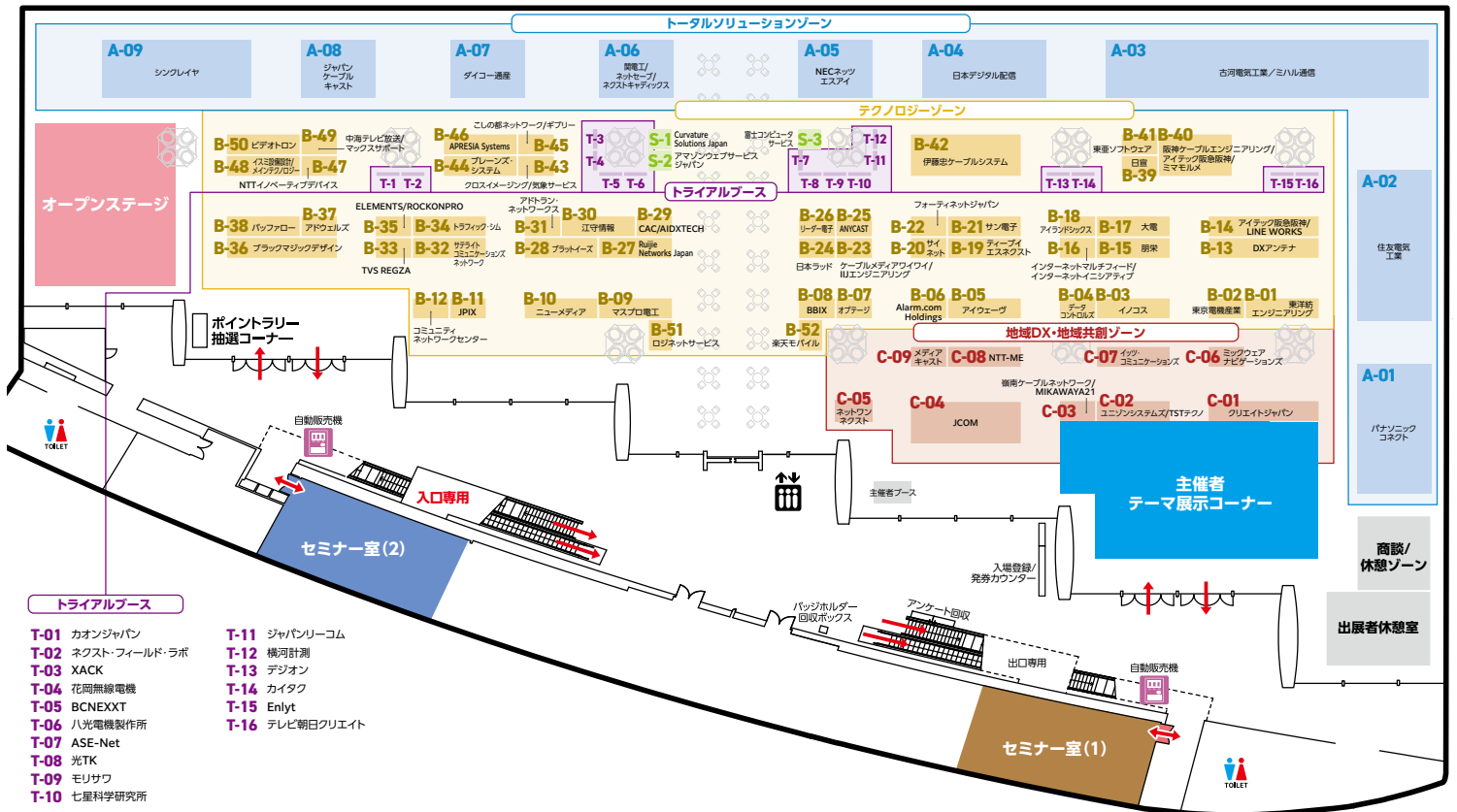
NHK 放送文化研究所 メディア研究部 研究員。現在は主に「国内メディアによる生成 AI 活用とリスクマネジメント」や「スポーツの公共性とメディアの役割」に関して研究している。これまでに「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」「全国個人視聴率調査」「全国メディア意識世論調査」なども担当した。

EXHIBITION MAP

技術セミナー／オープンステージ案内図

各出展者の出展概要は公式ウェブサイトでご確認ください。

<https://www.catv-f.com/>



技術展示会 出展者一覧 (五十音順)

各出展者の出展概要は公式ウェブサイト内でご確認ください。

ブースNo. 出展者名	ブースNo. 出展者名	ブースNo. 出展者名	※2026年5月29日現在
B-05 アイウェーブ	B-12 コミュニティネットワークセンター	T-02 ネット・フィールド・ラボ	
B-14 アイテック阪急阪神/LINE WORKS	B-20 サイネット	C-05 ネットワンネクスト	
B-18 アイランドシックス	T-03 XACK	T-06 八光電機製作所	
B-37 アドウェルズ	B-32 サテライトコミュニケーションズネットワーク	T-07 パッファロー	
B-31 アドトラン・ネットワークス	B-21 サン電子	T-04 花岡無線電機	
B-46 APRESIA Systems	B-29 CAC/AIDXTECH	A-01 パナソニックコネクト	
S-02 アマゾンウェブサービスジャパン	C-04 JCOM	B-40 阪神ケーブルエンジニアリング/アイテック阪急阪神/ミマモルメ	
B-06 Alarm.com Holdings	B-11 JPIX	T-05 BCNEXXT	
B-48 イスミ設備設計/メインテクノロジ	A-08 ジャパンケーブルキャスト	B-08 BBIX	
C-07 イッツ・コミュニケーションズ	T-11 ジャパンリーコム	T-08 光TK	
B-42 伊藤忠ケーブルシステム	A-09 シンクレイ	B-50 ビデオロン	
B-03 イノコス	A-02 住友電気工業	B-22 フォーティネットジャパン	
B-16 インターネットマルチフィード/インターネットイニシアティブ	A-07 ダイコー通産	S-03 富士コンピュータサービス	
T-07 ASE-Net	B-17 大電	B-36 ブラックマジックデザイン	
B-25 ANYCAST	B-49 中海テレビ放送/マックスサポート	B-28 プラットイーズ	
A-05 NECネットエスアイ	B-13 DXアンテナ	A-03 古河電気工業	
B-47 NTTインベティブデバイス	B-19 ティービーエスネクスト	B-44 プレゼンズ・システム	
C-08 NTT-ME	B-33 TVS REGZA	B-15 朋栄	
B-30 江守情報	B-04 データコントロールズ	B-09 マスプロ電工	
B-35 ELEMENTS/ROCKONPRO	T-13 デジオン	C-06 ミックウェアナビゲーションズ	
T-15 Enlyt	T-16 テレビ朝日クリエイト	A-03 ミハル通信	
B-07 オプテージ	B-41 東亜ソフトウェア	C-09 メディアキャスト	
S-01 Curvature Solutions Japan	B-02 東京電機産業	T-09 モリサワ	
T-14 カイタク	B-01 東洋紡エンジニアリング	C-02 ユニゾシステムズ/TSTテクノ	
T-01 カオンジャパン	B-34 トラフィック・シム	T-12 横河計測	
A-06 関電工/ネットセーブ/ネクストキャディックス	T-10 七星科学研究所	B-52 楽天モバイル	
C-01 クリエイトジャパン	B-39 日宣	B-26 リーダー電子	
B-43 クロスイメージング/気象サービス	B-24 日本ラッド	B-27 Ruijie Networks Japan	
B-23 ケーブルメディアワイワイ/IIJエンジニアリング	A-04 日本デジタル配信	C-03 嶺南ケーブルネットワーク/MIKAWAYA21	
B-45 この都ネットワーク/ギブリー	B-10 ニューメディア	B-51 ロジネットサービス	

日本ラッド(株)

同展では、過酷な環境にも耐える野球中継・イベント等の現場ロボカメラ運用や情報カメラにも最適な「48倍ズーム対応・全天候型PTZカメラ」をはじめとしたBolinの各種PTZカメラ、現場からの即時伝送を支える「5Gボンディングエンコーダー」を中心としたKiloviewのエンコーダー・デコーダー機器などを中心にデモ実演し、紹介した。



最大48倍ズーム対応・SONY Block採用の超望遠・高精細な屋外PTZカメラ。Bolin EXU-248Fは、遠くの被写体でもはっきり映し出せる、プロ仕様の屋



優れた耐候性と安定性能を備えたSONY Block採用の屋外用PTZカメラBolin EX1030Hは、過酷な気象条件に耐えるIP67対応。30倍ズームを搭載し、スポーツ・屋外イベント・監視用途に最適なカメラ。



Kiloview E3 エンコーダー/ D350 デコーダー /CUBE R1 NDIレコーダー / CUBE X1 NDIルーティング&配信システムなど、「NDIエコシステム」を紹介。機器などを中心にデモ実演展示。

HP: <https://www.nippon-rad.co.jp/>



ブラックマジックデザイン <https://www.blackmagicdesign.com/jp/company/offices>

Blackmagic Design は、ケーブル技術ショーにおいて、放送・映像制作の次世代インフラを支えるST 2110 IP 対応製品を中心に展示します。ATEM スイッチャーやHyperDeck、Cloud 関連製品を通じて、放送とネットワーク技術の融合による高効率な制作環境を紹介した。

Blackmagic Design のST 2110 対応IP 製品群は、放送設備の柔軟性と拡張性に関する課題を解決します。従来のSDI ベースのシステムでは、大規模な配線や専用ルーターが必要でしたが、IP ネットワークを活用することで映像・音声・制御信号を統合して伝送可能です。これにより、設備構築や運用の効率化、リモート制作への対応、将来的なシステム拡張を容易にしながら、高品質かつ低遅延な映像制作環境を実現します。



新製品 Blackmagic URSA Cine 12K LF 100G を発表
<https://www.blackmagicdesign.com/jp/media/release/20260414-03>



新製品 Blackmagic Ethernet Switch 820 を発表
<https://www.blackmagicdesign.com/jp/media/release/20260414-13>



新製品 ATEM 4 M/E Constellation IP を発表
<https://www.blackmagicdesign.com/jp/media/release/20260414-05>



新製品 HyperDeck ISO Recorder 100G を発表
<https://www.blackmagicdesign.com/jp/media/release/20260414-06>



パナソニック コネクト



ブースでは、コンテンツの制作から配信、お客様サポートまで、ケーブルテレビ事業者様の各業務でサポートする商材を「制作」「配信」「サポート」の3つにゾーンを分けてご紹介いたします。



会場内の各コーナーでは、ケーブルテレビ事業者様と加入者様をはじめとした、地域の皆様に向けて「いいね！」ポイントも合わせてご紹介。パナソニック コネクトは、地域のより良い未来づくり実現に向け貢献いたします。

課題解決としては、「現場人材の不足」や「加入者様の維持・獲得」といったケーブルテレビ事業者様の課題を「制作」「配信」「サポート」の業務フロー全体でサポートしつつ、それぞれの地域課題に合わせ、地域の未来を見据えたご提案をまいります。

ビデオトロン



4K8K 防災減災コーナーに出展した同社は、豊富なラインナップでシステムを完結可能なVbus モジュールシステムは、高い信号監視性能とログの一括監視でシステムの安全な運用を実現します。モジュール製品ならではの省スペース・高いメンテナンス性でシステム構築を強力にサポートします。



Micro BNC を採用したDDA、マトリックススイッチャーは高密度化により省スペース化、コストダウンを実現。

各モジュールは個別に監視機能が充実しており、トラブル発生時にはログ機能を利用することで、原因の切り分け等が容易になります。モジュールシステムならではの高い拡張性で、既存システムへの機器の追加がスムーズに行えます。

リーダー電子(株) <https://www.leader.co.jp/>

日本国内における地上波、CATV、衛星のデジタル放送に対応したRF フィールドテスターです。各デジタル放送のレベル、BER、MER の測定やコンスタレーションなどの波形確認はもちろん、映像表示や音声確認、FTTH における光パワー測定機能やBER、MER 等の測定も可能です。
特長：7 インチ タッチパネルディスプレイ/ 映像表示、音声出力機能/ 数項目同時測定/ マルチチャンネル一覧表示/ 自由なチャンネルプリセット/ 自動測定機能/ 光測定対応/ 10 ~ 3300MHz の広帯域スペクトラム表示/ 衛星名、放送局名表示機能

■LePorter (リポーター)

LF995/LF965 で取得した測定データをクラウドサーバーにアップロードし、データを保存・管理および報告書の自動作成ができる新しいサービスです。

従来は USB メモリーなどの媒体に取得データをコピーし、PC にてデータ集計や報告書を作成していた作業時間を大幅に削減。

特長：Wi-Fi を利用してクラウドにデータを簡単にアップロード/ 建物や場所ごとに測定データを分類して管理/LF995 のロギングデータを逐次クラウドへアップロード / 料金体系：サブスクリプション



(株) 朋 栄 <https://www.for-a.co.jp/>

当社は、放送分野で培った確かな技術と知見を活かし、IP 製品・サービスを活用した「自社で設備を持たない映像システム」を提案。

ソフトウェアベース機能統合型ライブ制作ソリューション「FOR-A IMPULSE」は、MoIP システム内において、ソフトウェアデファインドアーキテクチャーによる柔軟なシステム構築と効率的な運用を実現。初期投資を抑えつつ、運用規模に応じた段階的なシステム拡張が可能です。

長期的な設備更新の負担軽減、総所有コスト (TCO) の最適化、さらには機器管理に伴う人的コストの削減など、運用のあらゆる面からコスト効率化を強力にサポートします。

機能統合型ライブプロダクションソリューション「FOR-A IMPULSE (FOR-A Integrated Media Platform with Unlimited StructurE)」のコンセプトを紹介！。

FOR-A IMPULSE は、放送設備のクラウド・IP 化における「コスト」と「運用変更の負荷」という課題を解決します。

従来のハードウェア

依存のシステムとは異なり、汎用サーバー上で高度な映像処理をソフトウェアとして実行するため、初期投資を大幅に削減。さらに、使い慣れたハードウェア操作感を維持したままシームレスに IP・クラウド環境へ移行できるため、現場のスキルに依存せず、迅速かつ柔軟な番組制作体制への変革を可能にします。

